

## 金重陶陽

### KANESHIGE Toyo

- 1896 岡山県和気郡伊部村伊部（現・備前市伊部）に、細工物を得意とした金重煤陽の長男として生まれる（本名 勇）
- 1910 伊部尋常高等小学校高等科卒業後、父に師事し、主に細工物を学ぶ
- 1918 この頃大本教に入信  
この頃より「陶陽」の号を用いる
- 1921 ドイツ式のマッフル窯を築く
- 1927 この頃古備前の研究や茶道を始める  
～28
- 1930 桃山風備前の土味を出すことに成功する
- 1932 轆轤による茶器をつくり始める
- 1936 川喜田半泥子が来訪、これを機に交遊が始まる
- 1942 川喜田半泥子、荒川豊藏、十代三輪休雪（のち休和）と「からひね会」を結成  
備前焼の技術保存資格者（丸技）に認定される
- 1949 北大路魯山人が来訪、一週間作陶する  
藤原啓、山本陶秀、藤田龍峰、金重素山、浦上善次と「備前窯芸会」を結成
- 1951 京都府亀岡の大本教が花明山窯を創設、その指導のため1ヶ月滞在し制作する
- 1952 イサム＝ノグチが北大路魯山人とともに来訪、制作する  
魯山人の依頼を受け、北鎌倉山崎に備前窯をつくる、1ヶ月半滞在し魯山人窯で釉薬ものを多数制作
- 1954 岡山県指定重要無形文化財保持者に認定される
- 1955 石黒宗麿、荒川豊藏、加藤唐九郎、宇野三吾らと「日本工芸会」を結成
- 1956 国指定重要無形文化財保持者に認定される
- 1960 山陽新聞（文化功労）賞  
第12回岡山県文化賞
- 1962 日本工芸会理事となる
- 1964 ハワイ大学夏期大学講師として招待される（同'66）
- 1966 紫綬褒章受章
- 1967 昭和天皇皇后両陛下が備前にご来訪の際、御前制作をする  
逝去